

Pepper を動かしてみよう

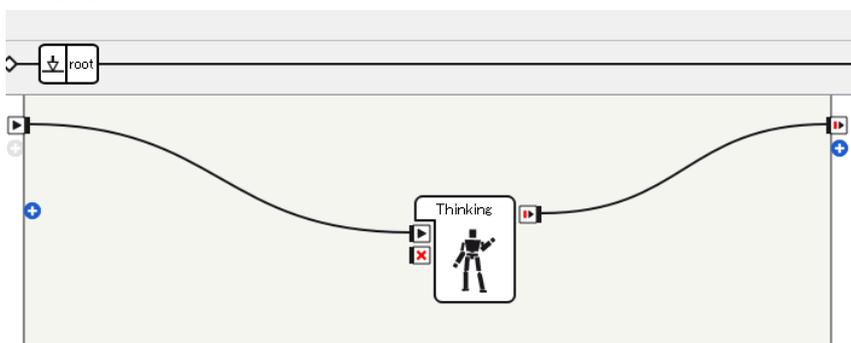
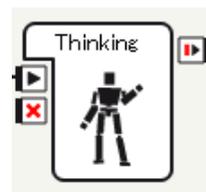
Pepper と動かす方法を学習します。
さらに、しゃべりながら動かす方法を考えます。

基本課題 Pepper を動かしてみよう

■プログラムの作り方

コレグラフには Pepper の動きのパターンが記録されたボックスが用意されています。ここでは pepper が左手で頭をかき動作の「Thinking」ボックスを使います。ボックスを下の図のように配置し、線でつなぎます。

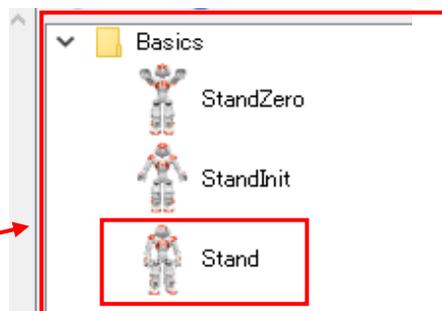
使用するボックス



Pepper で実行してみると、左手を少し上げたままで止まります。

Pepper は人間と同じで、腕を上げたままにしていると疲れてしまい、場合によっては故障してしまいます。

Pepper を動かした後は、「ポーズライブラリ」から「Stand」をダブルクリックして、Pepper が楽な姿勢に戻します。



練習 Pepper にいろいろな動きをさせてみよう



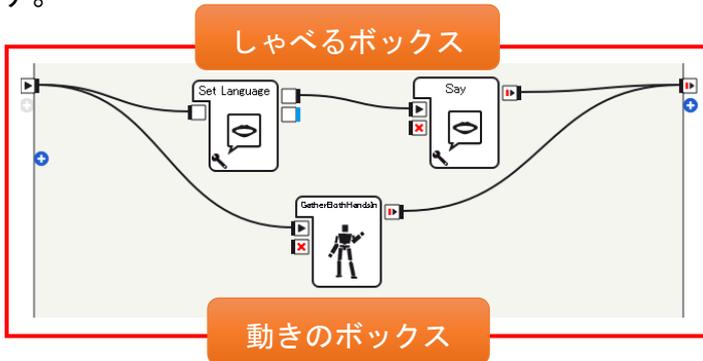
いくつかの動きのボックスを配置し、線でつないでみよう

発展課題 1 Pepper がしゃべりながら動くようにしてみよう

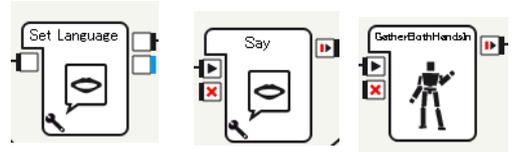
■プログラムのつくり方

しゃべるプログラムと動きのプログラムを組み合わせることで、Pepper はしゃべりながら動くようになります。

しゃべるボックスと動きのボックスを並列につなぐと、Pepper は同時に信号を受け取ることができます。



使用するボックス



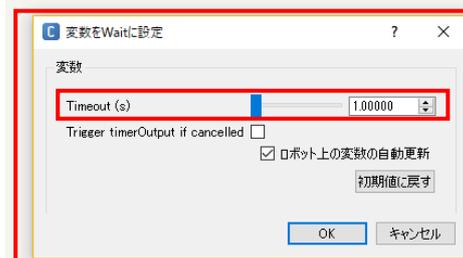
しゃべるボックスと動きのボックスを直列につないだ場合と比べてみましょう。

発展課題 2 しゃべる言葉と動きのタイミングを合わせてみよう



「Wait」ボックスを使うと信号が流れるタイミングを調節することができます。

どのようにつないだら思った通りに動くか、考えてみましょう。



使用するボックス



Timeout(s)の単位は秒です。しゃべる言葉の長さに合わせて、それぞれ何秒がいいか、何度も試してみましょう。